

海老名災害ボランティアネットワーク 2019年度 第2回(5月)定例会、議事録

開催日時：2019年5月8日(水) 19時～21時、会場：海老名市総合福祉会館、第3娯楽室

【出席者】山本由美子、上野南津子、小澤昌平、星野隆一郎、野本みな子、水本晶子、杉山さつき、
福田博(議事録作成)、計8名

(1) 会計より報告：松井会計が欠席のため、小澤会計が説明した。

【2019年4月13日総会時の会員数】個人会員28名、賛助会員19名、団体会員3団体

①一般会計 2019年4月末日の残金 292,401円(+66,856円)()内は3月末との比較。

【4月末まで会費納入者】個人会員18名(-4名)、賛助会員9名(-3名)、団体会員1団体(-2)

②特別会計：2019年4月末日現在：46,000円(±0)

③その他：災ボラ事業(事業に関する他団体との会議を含む)に出席した会員への交通費支給は、4月～5月の2か月分を5月末日までに会計に請求し、6月の定例会で支払う方式に変更します。

【会計への請求する請求書に記載する事項】(前回添付した請求書様式が無い場合は下記の事項を記載)
請求者の氏名、出席した事業名、日時、交通費

(2) 活動報告；2019年4月1日会計監査～5月10日まで(○は交通費支給対象)

1) 4月1日(月) 会計監査 16時～19時 総合福祉会館第4会議室○

【出席】会計：松井、三宅、会計監査：永山、野本、代表：福田、副代表：水本、
副代表候補：星野、会計候補：小澤、平成31年度予算案の検討も合わせて行った。

2) 4月4日(木) 19時～21時、4月定例会、第3娯楽室(1階)

4月4日の定例会で議案書の内容を検討、それを役員が総会に提案することの承認を得た。

3) 4月5日(金) 9時～13時、総会資料(議案書)の「印刷」及び「郵送」作業○

会場：海老名市総合福祉会館：【出席者】福田、星野、水本、野本、計4名

総会資料(議案書)印刷代840円(A4版、80部印刷)、郵送費用120円×35通=4,200円。

4) 4月13日(土) 海老名災ボラ、第18回定期総会

会員総数50名、出席19名+委任状24名=43名で成立。その後、会員2名が途中参加。

第1号議案から第5号議案まで拍手で承認。詳細については、「定期総会報告」4月20日付を参照。

5) 4月21日(日) 10時～イオンの黄色いレシートキャンペーン、賞金贈呈式○

【出席】水本、石橋、1年間のキャンペーンに参加して「イオンカード」を贈呈された。

6) 4月26日(金) 14時～15時30分、海老名防災関係3者定例会○、会場：海老名市社協事務所

【出席】社協：岩澤、新倉、危機管理課：川崎、災ボラ：福田、水本、星野

【内容】海老名市救援ボラセン・スタッフ養成(コーディネーター養成講座など)をめぐる討論

「ビックレスキューかながわ2019」神奈川県・伊勢原市合同総合防災訓練(8月31日)

7) 4月30日(火)「さつき会」との打ち合わせ(5月31日「非常食の作り方」)○

【出席】手話サークルさつき会：稲生さん、他1名、災ボラ：水本、三宅 (詳細は事業予定を参照)

8) 5月7日(火) 18時30分～神奈川災ボラ拡大運営委員会○、会場：県民サポートセンター

テーマ：神奈川災ボラ定期総会(6月11日)に向けた討論、出席：福田

9) 5月8日(水) 19時～ 海老名災ボラ5月定例会、会場：海老名市総合福祉会館第3娯楽室

出席者：上野、小澤、杉山、野本、星野、水本、山本、福田 計8名

10) 5月10日(金) 10時~12時、海老名市ボランティア連絡協議会の定期総会〇

【出席】水本、福田、会場：海老名市総合福祉会館第一・第2会議室

【内容】18年度の活動報告と決算報告、19年度の役員承認、19年度の事業計画と予算など

11) 5月11日(土) 10時~12時、防災・減災体験活動フェア〇

主催：実行委員会(神奈川災ボラ、SL災害ボラネットなど)、会場：横浜・沢渡中央公園

参加者：全体で500人、海老名災ボラの参加者2名(福田、上野)、体験・展示28種類

(3) **今後の事業予定**：2019年5月~7月(参加可能者は福田まで連絡をお願いします)

1) 5月22日(水) 9時~12時、海老名災ボラ・ネットワークだより34号の印刷作業等〇

自治会回覧用のため約5500枚を印刷し、自治会別に仕分け、市役所へ持っていきます。

会場：海老名市総合福祉会館、9時~印刷機前、配送準備作業はボランティア室、

【出席予定】福田、杉下、募集中(参加者が多ければ早く終わりますので、よろしくお願いします)

2) 5月22日(水) 神奈川災ボラ、拡大運営委員会、18時30分~県民サポートセンター

【出席予定】福田

3) 5月28日(火) 18時30分~神奈川災ボラ第2回理事会、会場：県民サポートセンター

海老名災ボラが加盟している神奈川災ボラの総会議案書の討論、【出席予定】福田(理事)

4) 5月31日(金) 19時~21時、手話サークル「さつき会」勉強会を災ボラが支援・協力〇

「非常食の美味しい食べ方」に関する勉強会を「手話サークルさつき会」が開催、海老名災ボラが講師等を派遣し参加・協力する。同時に「災害時のトイレの使い方」の体験型訓練も実施する。

さつき会の会員と聴覚障がい者(約30名)が集まる。会場：福祉会館、娯楽室(1階)

【出席予定】水本、三宅、支援スタッフの一員として参加する災ボラ会員を募集中。

5) 6月11日(火) 18時30分~20時、神奈川災ボラ定期総会〇、会場：県民サポートセンター

【出席予定】福田(理事)、災ボラの会員は傍聴できるので、傍聴希望者は福田まで連絡を!

6) 6月14日(金) 上今泉小学校で「防災マップづくり」体験学習会を開催〇

対象者：上今泉小学校の6年生3クラス(108名)、時間帯8時45分~10時20分

会場：上今泉小学校・体育館、講師(スタッフ)災ボラ会員：中村、星野、福田、さらに募集中

上今泉小学校区の地図は学校側で用意する。地図に色付けするクレヨンは児童に持参してもらう。

7) 6月29日(土) 10時~12時30分、「体験型講座 減災・災害対応訓練」〇

会場：海老名市総合福祉会館第1~第3娯楽室、参加する市民を募集する(30名)。

PR：海老名災ボラ・ネットワークだより34号(自治会回覧)、「広報えびな」6月1号か15日号
海老名災ボラ・ホームページなど

【出席予定】海老名災ボラ会員で出席可能な方(個人会員、賛助会員、団体会員)を募集中。

8) 7月下旬、海老名市立小学校「海老名っ子スクール」(旧「サマースクール」)へ講師派遣〇

テーマは「災害発生時の命を守る行動に関する訓練」発生時に居る「様々な場」での緊急行動訓練

①7月23日、9時~午前中、海老名市立有鹿小学校「海老名っ子スクール」

②7月24日、9時~午前中、海老名市立東柏ヶ谷小学校「海老名っ子スクール」

(4) その他の事項：時間の関係で、2)、3)は説明だけとし、討論は6月以降としました。

1) 毎月の定例会(月1回)を何時にするか ⇒ 第一水曜日の夜に決定

①4月13日(土)の定期総会後の定例会の曜日をめぐり討論(13名出席)で、従来の第1木曜日を変更したいという意見が出された。「都合の良い曜日」を聞くとバラバラで、月曜日か水曜日にしたいという意見がやや多かった(5名)。

②5月8日(水)の定例会では、第一の月曜日か水曜日のどちらかに決めることを前提に、出席者に聴いたところ、出席者8名では「どちらでもよい」が多数を占めた。月曜日は祝祭日となることもあるので水曜日にする事になり、第一水曜日に決定した。1時間半(90分)以内に終了するように努力する。

③この討論の過程で、出席者の勤務状況が話題となった。現在は、定年退職後も働く人が多く、再就職の場合は不規則勤務の人が多いいということも分かった。また、災ボラの個人会員だけを見ても、過半数の会員が出席できる曜日はなく、どの曜日を選択しても、個人会員の過半数が集まることは困難な状況が分かった。⇒定例会終了後に議事録を作成し、出席できなかった会員への情報提供が重要である。

④会員の情報共有を考えると、パソコンのメールだけでなく、スマホ、電話、FAXなども含めて、会員が普段利用している多様な通信機器を使って、役員の側からアクセスすることが重要になる。

2) 「海老名災害ボランティアネットワークの会員名簿」の「会員内部への公開」の件

①会員が入会申込時に記載した事項を基に、会員名簿を歴代の代表が作成し、この名簿をその年度の副代表、会計に提供している。記載事項は、氏名、住所、電話番号(自宅、携帯)、FAX番号、メールアドレス、生年月日で、申込者が記載した部分が名簿に掲載されている。個人情報保護の問題があるので、この名簿は会員全員には公開していない。

②「災ボラ会員の氏名も連絡先も分からないままでは、会員の交流が進まない、会員名簿を会員全員に公開してほしい」という意見が出された。何回かの討論の結果、会員相互の交流を促進するために、会員内部に公開できる名簿を、会員の「アンケート実施で作成する」ことになった。会員個々の事情や考え方を考慮して、氏名以外の項目で、どこまで公開するかは会員個人の判断によることとした。具体的には、個々の会員がアンケートに記載した内容だけを記載した名簿を作成し、それを会員内部に公開することになった。4月1日付で13名の新会員の入会あったので、会員名簿の公開について議論したい。

3) 海老名災ボラのメーリングリスト登録と登録者の情報公開の範囲について

①メーリングリスト登録者の現状(2019年4月末現在)

個人会員：28名中26名が登録済、賛助会員19名中7名が登録、団体会員3団体中1団体が登録済
メーリングリストの使われ方：主に海老名災ボラの事業など役員から会員への情報発信(連絡事項)と、それに関する会員からの返信に使われている。現在、メーリングリスト登録者について、氏名とメールアドレスの両方がセットでメーリングリスト参加者全員に公開されている。

②新しく入会したAさんから「メールでひどい目にあった経験があるので、自分については氏名の公開だけでメールアドレス公開は止めてほしい」という意見が出された。この問題について「広報担当を含む役員の意見を調整中で、Aさんのメーリングリスト登録は現在ストップしている。

2)と3)の共通する問題：災ボラ会員の情報は災ボラ活動の発展のために利用されるべきである。会員の情報が何らかの理由で漏洩し、「政治、宗教、ビジネス(営利活動)、中傷や嫌がらせなど」に利用されるリスクも存在している。情報公開の範囲と個人の事情をどのように調整するか、今後討論したい。